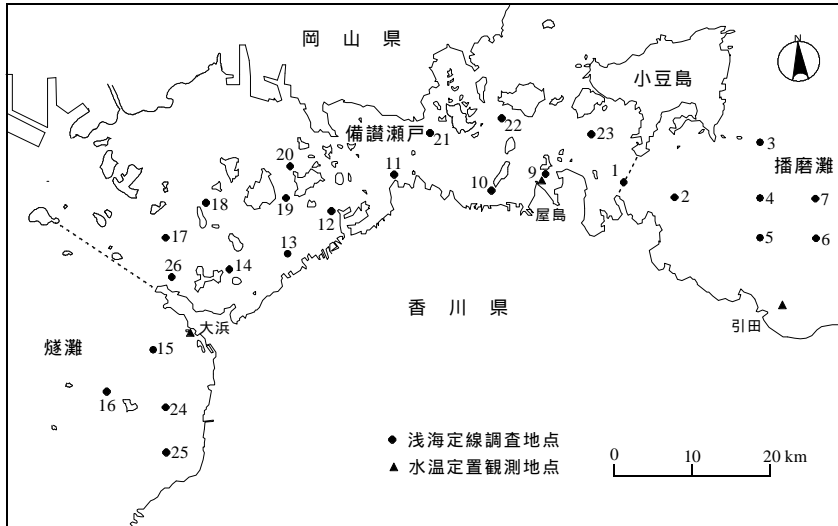


# 香川県漁海況速報 平成17年10月 (H17- 7号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成17年10月4日(播磨灘), 3日(備讃瀬戸, 燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「かなり低めから平年並み」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	25.5	25.3	25.2	32.3	32.3	32.3	7.2	4.22	4.05
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.6	31.7	31.8	6.9	4.42	4.07
	平年偏差	0.6	0.5	0.5	0.7	0.6	0.5	0.3	-0.20	-0.02
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	25.7	25.6	25.6	32.1	32.1	32.1	2.3	4.18	4.13
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.4	31.5	31.5	3.9	4.29	4.19
	平年偏差	0.8	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	-1.6	-0.11	-0.06
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	かなり低め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	25.7	25.5	25.2	32.5	32.5	32.6	4.9	4.57	3.75
	平年値	25.0	24.7	24.6	31.6	31.9	32.0	7.5	4.89	4.08
	平年偏差	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6	0.6	-2.6	-0.32	-0.33
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

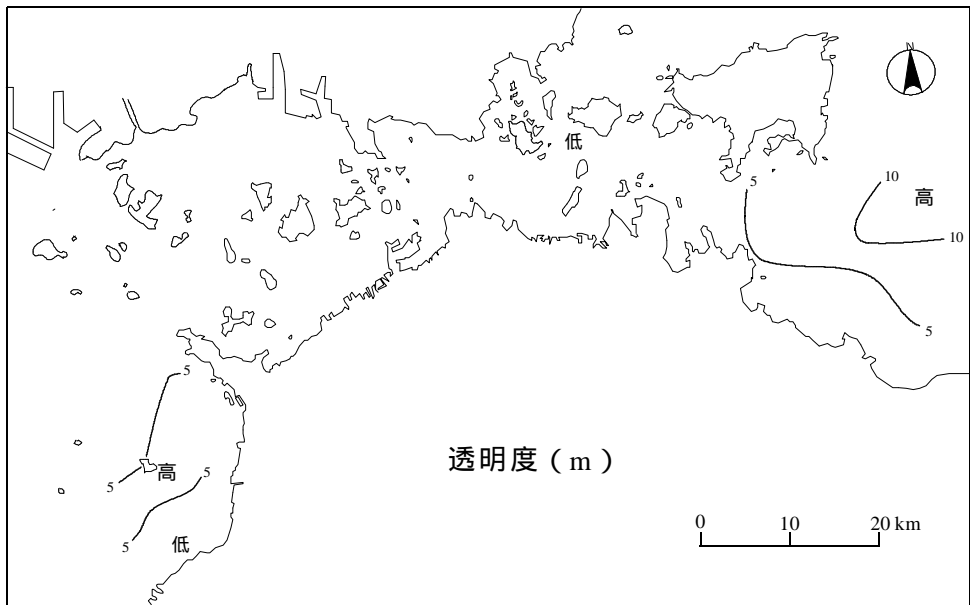
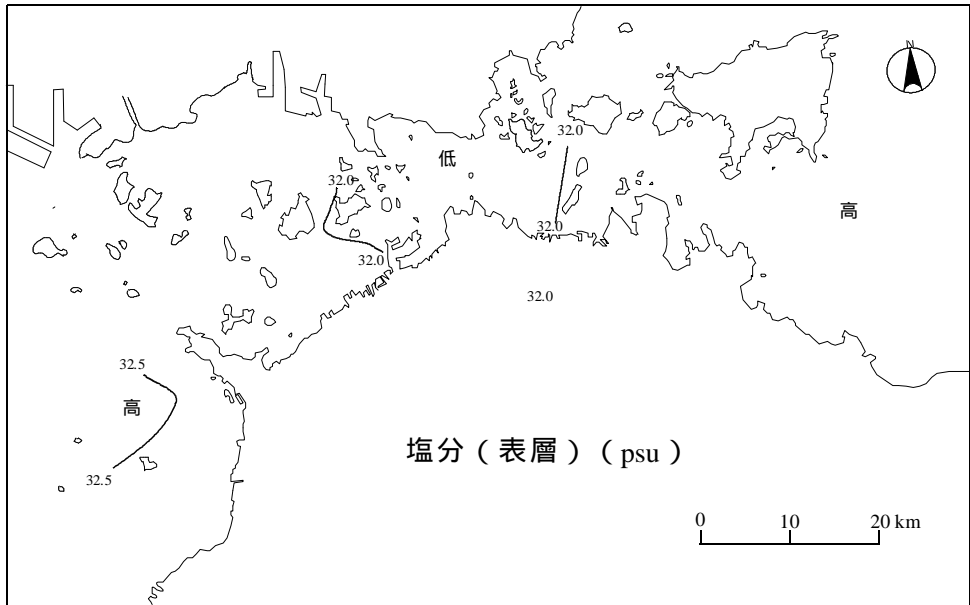
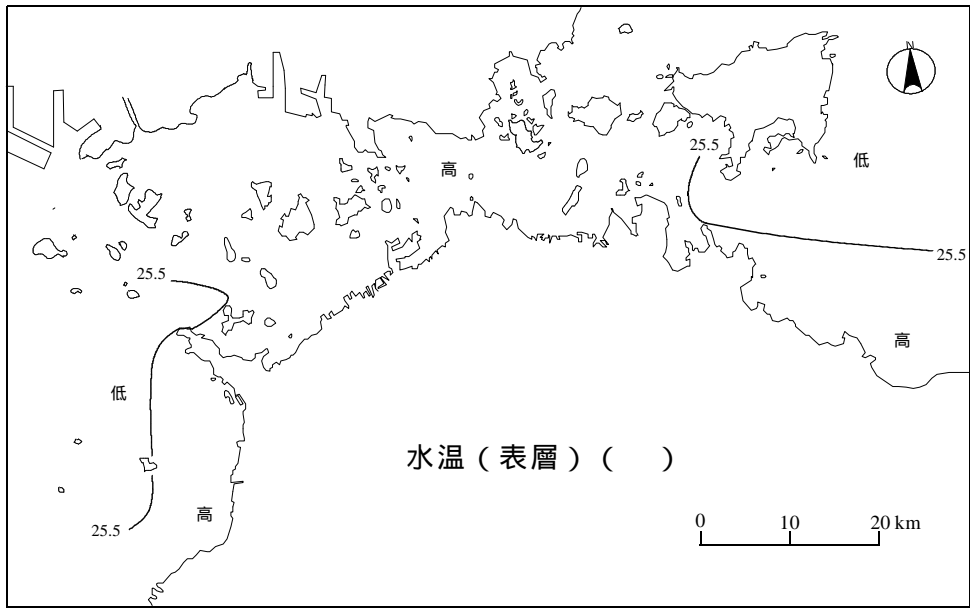
平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和48年(1973)1月~平成13年(2002)12月

溶存酸素: 昭和48年(1973)2月~平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



## 2) 定置観測(水温)

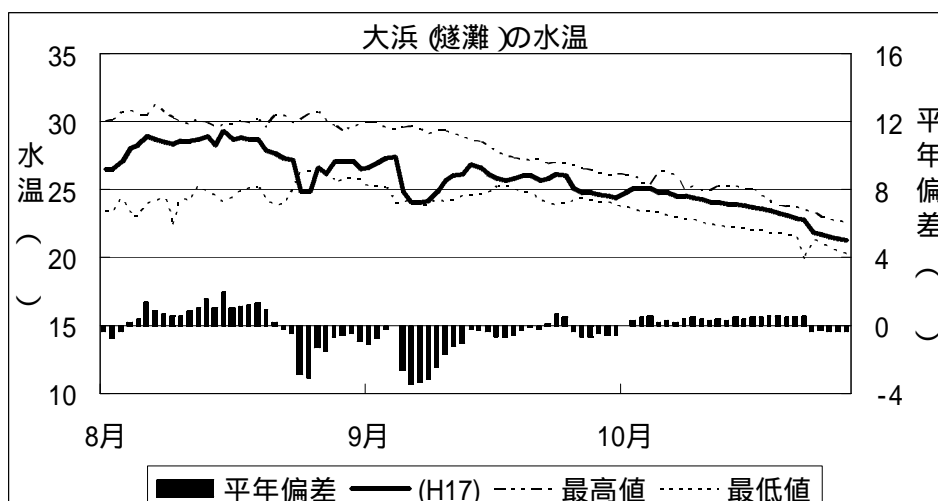
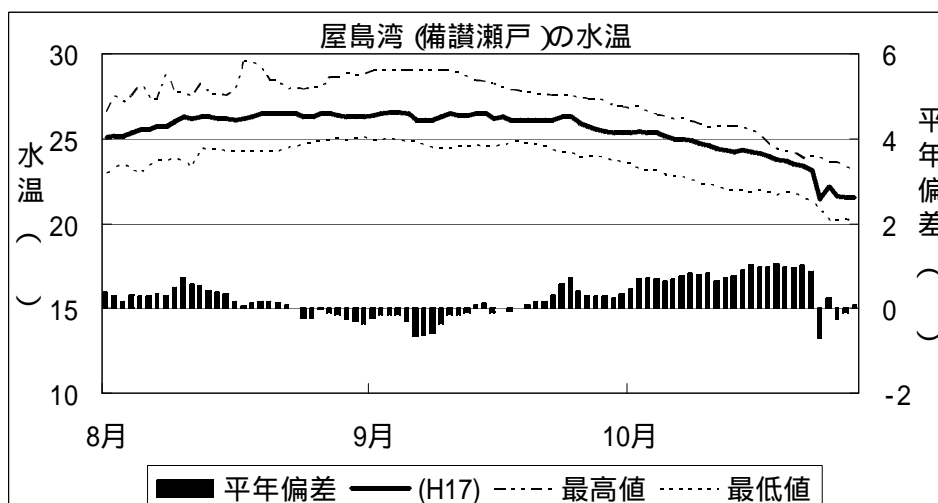
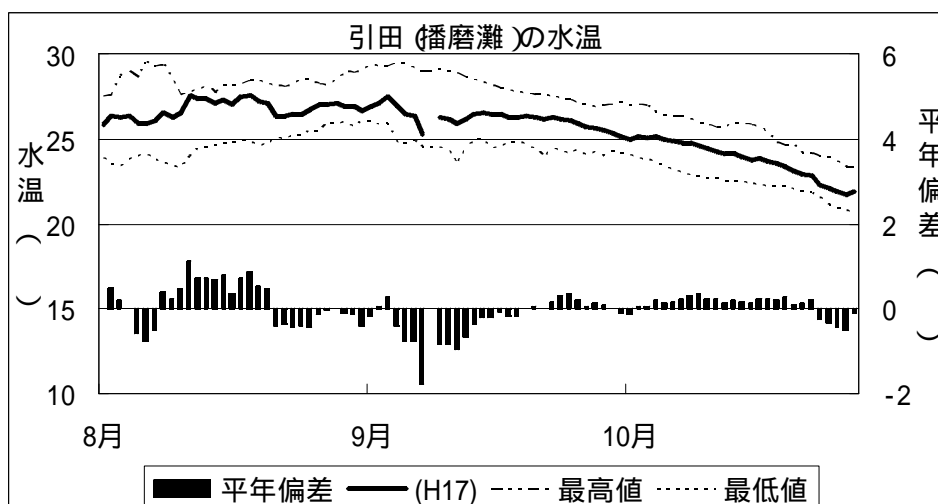
播磨灘(引田): 9月上旬平年値前後から、平年偏差が - 1.8 に低下した後上昇した。中旬から平年値前後で推移し、10月下旬から平年値より低く推移している。

備讃瀬戸(屋島): 9月上旬は平年値より低く推移し、中旬から平年値より高くなり、10月上旬は平年偏差が 0.8 前後で推移した。下旬に低下し、平年値前後を推移している。

燧灘(大浜): 9月上旬に平年値前後から平年偏差が - 4 に大きく低下した後上昇した。その後平年値前後を推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成16(2004)年

屋島: 昭和50(1975)~平成16(2004)年



### 3) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成17年10月4日（播磨灘），3日（備讃瀬戸，燧灘）

出現量 個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.30	3.00
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.80	0.50
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	2.30
総平均	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.83	1.60

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	12.6%	0.0%	-	-
備讃瀬戸平均	0.0%	0.0%	-	-
燧灘平均	0.0%	0.0%	-	-
総平均	8.0%	0.0%	-	-

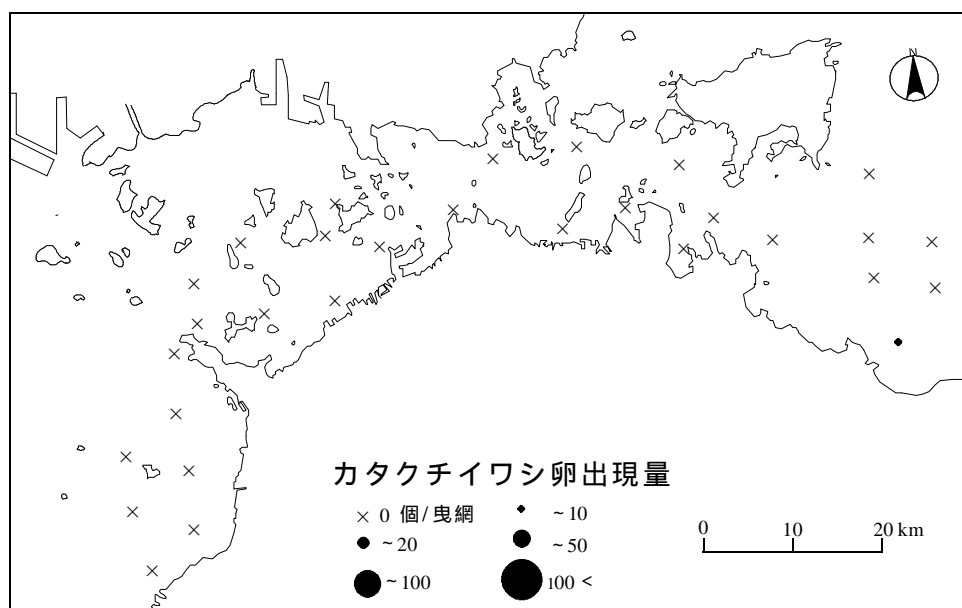
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成16（2004）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成16（2004）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は，次のとおりである。



## 2. 漁況

9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網は主にイボダイ、小型イカ、小エビ類、カマス類、ハモが漁獲されているが、マアナゴが少ない。</p> <p>ます網では主にタチウオ、アジ類（マルアジ）、イボダイが漁獲されている。</p> <p>建網では、ガザミ（今年生まれ）が多獲されている。</p> <p>船びき網のシラス漁は、9月は低調ながら漁獲があったものの10月に入ると休漁状態となっている。</p> <p>サワラ流し刺し網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類、クルマエビ、ガザミ、イイダコ、マダコが漁獲され、特にガザミが多獲されている。</p> <p>建網では、クロダイ、セトダイ、カサゴを漁獲している。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主に小エビ類、クルマエビ、テンジクダイ、ガザミ、シャコ、コウイカ（当歳）が漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺し網は10月から出漁していて、多い人でサワラ3尾、サゴシ10尾程度漁獲している。</p>